

「治療薬ハンドブック2022」訂正のお知らせ

ご購入いただきました「治療薬ハンドブック2022」（2022年1月発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2022年9月

【正誤表】

刷数	頁数	該当箇所	内容	書籍版 反映刷数	登録日
第1刷	817頁	図4のタイトル	誤 図4 主な 蓄 尿障害治療薬の作用機序	未	2022.09.20
			正 図4 主な 蓄 尿障害治療薬の作用機序		
第1刷	929頁	リクシアナの腎機能欄	誤 適応②：Ccr<50は 10mg に減量，Ccr< 15 は禁忌	未	2022.09.20
			正 適応②：Ccr<50は 15mg に減量，Ccr< 30 は禁忌		
第1刷	1430頁	カレトラの併用禁忌欄	<p>誤 <u>バイアグラ、シアリス、ザルティア、シンバスタチン、アトルバスタチン、イトラコナゾール、ケトコナゾール、ジヒドロピリジン系Ca拮抗薬、リファブチン、サルメテロール、ダサチニブ、ニロチニブ、ピンカアルカロイド系抗腫瘍薬、ボセンタン、コルヒチン、クエチアピン、シメプレビル、クラリスロマイシン、シクロスポリン、タクロリムス、エベロリムス、トラゾドン、フルチカゾン、ブデソニド、トリアムシノロンアセトニド、フェンタニル、イブチニブ、エンコラフェニブ、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の維持投与期、急性骨髄性白血病）、アバルタミド、アミオダロン、ペプリジル、リドカイン、キニジン、フレカイニド、プロパフェノン、ジゴキシン、アフアチニブ、ロスバスタチン、グレカプレビル・ビプレントスビル、セイヨウオトギリソウ含有食品、リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、デキサメタゾン、フェニトイン、ワルファリン、エルバスビル、エチニルエストラジオール、エストラジオール、ラモトリギン、バルプロ酸、メサドン、ペラバミル、アタザナビル、ジドブジン、アバカビル、テノホビル、マラビロク、リルビピリン、ネルフィナビル、ネビラピン、エファビレンツ、エトラビルン、ホスアンブレナビル、（内用液のみ）ジスルフィラム様作用薬</u></p> <p>正 ビモジド、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン、ミダゾラム、トリアゾラム、バルデナフィル、レバチオ、アドシルカ、プロナンセリン、アゼルニジピン、アゼルニジピン・オルメサルタン、リバーロキサバン、ロミタピド、ルラシドン、ベネトクラクス（用量漸増期）、リオシグアト、ボリコナゾール、グラゾプレビル</p>	未	2022.09.20

(最終更新日：2022年9月20日)